

建設時評

国勢調査にみる建設業の女性参画の広がり

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所
総括主席研究員 岩松 準

明治大学で今夏開催された日本建築学会大会の学術講演会で、女性技能者をテーマにした発表があった。建築生産の研究分野では新鮮な題材で注目を集めた。その内容は、大工、左官、内装、電気、他の各職種で経験を積む20代から40代、13名の女性職人へのインタビュー調査をまとめたもので、入職動機、女性同士のつながり、男性との身体差や工具・装備、現場設備、就業上の悩み、仕事と育児、今後などの多方面の聞き取りから得た課題を分類・考察したものだ。

筆者がセッション司会役だったこともあって、海外事情も含め周辺状況を少し調べた。一昔前の本欄で関連テーマを書いたのも覚えていたが、その時は2005（H17）年の国勢調査を分析していた。今回はデータを改めて、その後の展開をみることにしたい。

* * *

2005（H17）年の国勢調査では建設業女性就労者数は78.8万人で、男女計544万人の14.5%を占めていた。それが2010年には15.0%（68.3万人）、2015年16.0%（70.7万人）、そして2020年17.6%（75.0万人）と推移している。ちなみに、英国は15.8%（ONS；2023年）、米国は10.8%（BLS；同）、EU27ヶ国は10.5%（Eurostat；2024年）である。

ここ5年間の変化を詳しく表1にまとめた。男性は職業大分類の殆どで減るなか、女性は増えたものが多い。とくに目立つのが、「B. 専門的・技術的職業従事者」と「J. 建設・採掘従事者」の2つの大分類、言い換えれば、技術者と技能者の各カテゴリーにおける女性就業者の躍進だ。5年前から男女とも増となった技術者では、男性の8.0%に比し女性の伸び34.1%は突出する。一方、技能者は全体で▲4.9%（男性▲5.3%）だったが、逆に女性は17.7%も増えた。このようにジェンダーバランスは変化している。

* * *

では、女性が携わる具体的な職種は何か？表2は最新の職業小分類別集計であり、建設業女性数順に並べなおしてある。表2を上から見ておこう。総務・経理・人事などの事務系職種は女性比71%～88%で男性が少数派の一方、技術系（青色）と技能系（黄色）の各職種では女性比は数%と逆に女性が少数派である。ここにはかなりの不均衡がある。よく見ると技術者でも技能者でも上位の職種には女性人数が増えたものがいくつかある。

詳しく黄色の技能系職種をみると、土木系（表2の職種名冒頭記号で68a及び681）、電気工事（同679）、大工（同661）の順で千人

表1 職業大分類別・男女別 建設業就業者の増減状況しらべ（R2←H27国勢調査）

職業大分類	R2国勢調査の結果（人）			H27調査からの増減数（人）			H27調査からの増減率（%）		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
総数（職業分類）	4,251,800	3,501,850	749,950	-177,850	-220,390	42,540	-4.0	-5.9	6.0
A 管理的職業従事者	174,510	155,020	19,490	-40,980	-34,070	-6,910	-19.0	-18.0	-26.2
B 専門的・技術的職業従事者	315,790	290,820	24,970	27,860	21,510	6,350	9.7	8.0	34.1
C 事務従事者	777,300	203,170	574,140	34,280	3,550	30,740	4.6	1.8	5.7
D 販売従事者	209,670	189,930	19,740	-36,140	-35,620	-520	-14.7	-15.8	-2.6
E サービス職業従事者	4,370	1,920	2,450	-860	-390	-470	-16.4	-16.9	-16.1
F 保安職業従事者	3,740	3,480	270	190	30	180	5.4	0.9	200.0
G 農林漁業従事者	18,340	16,460	1,880	-10,980	-10,560	-430	-37.4	-39.1	-18.6
H 生産工程従事者	355,680	322,140	33,540	-29,980	-35,040	5,070	-7.8	-9.8	17.8
I 輸送・機械運転従事者	131,970	129,510	2,460	-6,010	-6,620	610	-4.4	-4.9	33.0
J 建設・採掘従事者	2,205,540	2,155,030	50,510	-113,430	-121,020	7,580	-4.9	-5.3	17.7
K 運搬・清掃・包装等従事者	54,750	34,260	20,480	-180	-790	600	-0.3	-2.3	3.0
L 分類不能の職業	140	120	20	-1,620	-1,350	-270	-92.0	-91.8	-93.1

（注） R2およびH27の国勢調査抽出詳細集計（主な内容：就業者の産業・職業（小・中分類）など）より作成

表2 「建設業」で働く女性の職業 (R2国勢調査)

職業小分類	建設業 女性数 (人)	女性の 増減数 (人)	建設業 女性比 (%)	女性建 設業比 (%)
	R2年10 月現在の 推定実人 数	前回H27 年国勢調 査からの 増減	各職業で の性的側 面の特徴 を表す	各職業の うち建設 業が占め る比率
建設業全体	749,930	42,330	17.64	2.87
257_総合事務員	273,430	17,920	87.10	13.44
26a_会計事務従事者	162,160	14,950	88.31	14.13
25a_庶務・人事事務員	67,400	-18,350	71.47	10.60
25c_その他の一般事務従事者	31,810	10,420	31.38	1.79
59p_生産関連作業従事者(画工、塗装・看板制作を除く)	23,020	4,970	36.45	26.09
68a_その他の建設・土木作業従事者	21,910	4,600	3.89	75.45
021_会社役員	18,750	-6,550	11.75	12.88
28a_営業・販売事務従事者	18,450	4,810	37.32	4.05
34c_その他の営業職業従事者	15,310	-80	8.16	7.74
739_その他運搬・清掃・包装等従事者	12,580	560	45.30	2.00
091_建築技術者	11,990	2,730	10.79	38.45
681_土木従事者	8,630	890	1.95	92.90
254_受付・案内事務員	6,040	-600	89.35	1.88
679_その他の電気工事従事者	5,510	1,210	1.75	72.21
711_ビル・建物清掃員	5,360	500	67.59	0.87
312_データ・エンターテインメント装置操作員	5,060	50	86.20	19.60
59n_画工、塗装・看板制作従事者	4,920	160	3.75	3.99
09a_土木・測量技術者	4,900	2,070	3.84	33.68
661_大工	4,340	1,000	1.47	95.59
27a_生産関連事務従事者	4,050	2,660	29.16	2.15
224_デザイナー	4,030	310	79.17	3.86
256_電話応接事務員	3,300	-1,080	76.39	1.44
666_配管従事者	3,150	70	1.55	90.52
674_電気通信設備工事従事者	1,910	100	2.95	72.62
311_パーソナルコンピュータ操作員	1,880	110	69.63	4.99
652_とび職	1,550	700	1.42	95.09
49g_板金従事者	1,540	-230	3.64	41.51
61a_自動車運転従事者	1,490	310	4.46	2.57
347_不動産営業職業従事者	1,420	-190	14.49	4.80
463_植木職、造園師	1,390	-500	8.66	14.69
664_左官	1,280	-250	2.14	100.00
323_販売店員	1,120	-590	47.86	0.05
07a_電気・電子・電気通信技術者(通信ネットワーク技術者を除く)	1,060	160	2.58	6.31
391_調理人	960	-590	74.42	0.09
331_不動産仲介・売買人	950	190	28.53	3.55
71c_その他の清掃従事者	670	-940	22.04	3.18
424_広告宣伝員	630	70	70.00	3.59
10c_その他の情報処理・通信技術者	610	150	9.73	1.57
049_他に分類されない管理的職業従事者	590	-110	9.04	4.49
651_型枠大工	590	-20	1.45	98.33
104_ソフトウェア作成者	500	260	21.55	0.69
551_はん用・生産用・業務用機械器具整備・修理従事者	500	150	1.92	4.02
10a_システムコンサルタント・設計者	490	170	8.45	0.48
50j_その他の製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)	490	20	18.42	0.29
645_建設・さく井機運転従事者	470	20	0.66	68.12
663_屋根ふき従事者	470	-320	2.82	97.92
461_農耕従事者	460	80	36.80	0.08
662_ブロック積・タイル張従事者	460	-260	1.92	82.14
50g_木・紙製品製造従事者	450	30	7.08	0.77
49j_その他の製品製造・加工処理従事者(金属製品)	440	0	4.80	0.71
653_鉄筋作業従事者	440	-70	1.53	97.78
704_倉庫作業従事者	440	150	11.03	0.50
34a_機械器具・通信・システム営業職業従事者	430	70	8.74	0.80
24c_他に分類されない専門的職業従事者	410	150	42.27	0.32
33a_その他の販売類似職業従事者	410	30	30.37	0.27
705_配達員	400	100	12.42	0.23
712_ハウスクリーニング職	400	130	40.00	3.76

(注1) R2およびH27国勢調査結果(抽出詳細集計)より作成。建設業女性数順。400人以上の職業小分類のみ。なお、技術者と技能者の各カテゴリーに色(青、黄)を載せた。

(注2) 「女性建設業比」は該当職種を100%としたときに建設業が占める比率。例えば「建設業全体:2.87%」は、女性の全就業者の2.87%が建設業に就業していることを示す。

を超える増加、また、青色の技術系職種では建築技術者(同091)の2,730人増、土木・測量技術者(同09a)の2,070人増があった。技術系は、建築・土木の高等教育卒業者に占める女性比が高まったことの現れであろう。

* * *

建設業は人手不足という切迫した事情から女性の入職促進と定着は国策になっている。建設業振興基金に事務局を置く「建設産業女性定着支援ネットワーク」には、2024年9月現在で52団体(約9,000人)の登録があるなど、対応は広がり始めている。この問題には「けんせつ小町」を掲げる日建連など建設業5団体も長年熱心に取り組んできた。それらの活動成果といえようか、女性現場監督は今では物珍しくない。さらに男だけだった職人世界でも女性参加の意義や役割について、男性職人の意識変化が生じている(松村, 2023)。上記学会論文もそれに触れていた。

* * *

建設業の女性技能者を焦点に欧米諸国の状況を調べてみた。EU27の最新統計では0.67%(9.5万人)と少ない。国別で北欧やスイスなどの7か国で0.4~3.6%の報告があるが、他の20ヶ国はゼロである。英国は、かつての英国建設業にあった「力仕事と屋外作業、悪天候、汚い言葉遣いへの耐性が要る男性中心の業界」(Agapiou, 2002)というイメージが変わったようだ。今や秋恒例イベントになったWomen in Constructionは相当な盛り上がりを見せている。また、米国の建設労働系シンクタンクCPWRのサイトで建設業界における女性の採用と定着戦略、あるいは、女性技能者の個人用保護具・安全靴サイズがテーマのYouTubeウェビナーを視聴できた。また、大工の2.7%(6.2万人)、電工の2.7%(3.7万人)、ペインターの18.8%(21.9万人)が女性との2023年米政府データもあった。

参考文献:

拙稿「建設業の「ダイバーシティ」に想う」, 本欄, 2013.11.

松村秀一著『新・建築職人論』学芸出版社, 2023.3.10.

A. Agapiou (2002), 'Perceptions of gender roles and attitudes toward work among male and female operatives in the Scottish construction industry', CME, 2002, pp.697-705.

CPWR, *Women in Construction* (<https://www.cpwr.com>)